

わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」 に関する文献リスト (2019)

Bibliography of the intensive group experience
and group psychotherapy in Japan : 2019

野島 一彦

跡見学園女子大学
心理学部臨床心理学科

Kazuhiro Nojima

Faculty of Psychology, Atomi University

坂中 正義

南山大学
人文学部心理人間学科

Masayoshi Sakanaka

Faculty of Humanities, Nanzan University

I. はじめに

本文献リスト・シリーズでは、1989年までは「集中的グループ経験」「集団精神療法」のリストは別々に作成されているが、1990年からは2つのジャンルは一緒に収録されている。以下にこれまでのリストを示す。

●「集中的グループ経験」に関する文献リスト (～1989)

- (1) 野島一彦 1983 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (～1969) 一付：グループ関係者 (団体) 名簿 [1982年12月現在] 福岡大学人文論叢, 14(4), 1457-1479.
- (2) 野島一彦 1980 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1970～1980) 九州大学教育学部心理教育相談室紀要, 6, 69-93.
- (3) 野島一彦 1982 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1981) 一付：同リスト [1970～1980] の追録 九州大学心理臨床研究, 1, 87-95.
- (4) 野島一彦 1983 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1982) 一付：同リスト [1970～1981] の追録 九州大学心理臨床研究, 2, 107-115.
- (5) 野島一彦 1984 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1983) 一付：同リスト [～1982] の追録およびグループ関係者 (団体) 名簿 [1983年12月現在] 福岡大学人文論叢, 15(4), 1479-1515.
- (6) 野島一彦 1985 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1984) 一付：同リスト [～1983] の追録およびグループ関係者 (団体) 名簿 [1984年12月現在] 福岡大学人文論叢, 16(4), 1527-1563.
- (7) 野島一彦 1986 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1985) 一付：同リスト [～1984] の追録 福岡大学人文論叢, 17(4), 775-790.
- (8) 野島一彦 1987 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1986) 一付：同リスト [～1985] の追録 福岡大学人文論叢, 18(4), 901-914.

- (9) 野島一彦 1988 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト(1987) —付:同リスト〔～1986〕の追録 福岡大学人文論叢, 19(4), 981-994.
- (10) 野島一彦 1989 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト(1988) —付:同リスト〔～1987〕の追録 福岡大学人文論叢, 20(4), 1391-1411.
- (11) 野島一彦 1990 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト(1989) —付:同リスト〔～1988〕の追録 福岡大学人文論叢, 21(4), 1669-1687.
- 「集団精神療法」に関する文献リスト(～1989)
- (1) 野島一彦 1991 わが国の「集団精神療法」に関する文献リスト(～1989) —そのⅠ:単行本, 研究論文 福岡大学人文論叢, 23(2), 501-533.
- (2) 野島一彦 1991 わが国の「集団精神療法」に関する文献リスト(～1989) —そのⅡ:学会発表, 翻訳, 書評, 海外文献紹介 福岡大学人文論叢, 23(3), 801-832
- 「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1990～)
- (1) 野島一彦 1991 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1990) 福岡大学人文論叢, 22(4), 1115-1147.
- (2) 野島一彦 1992 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1991) 福岡大学人文論叢, 23(4), 1087-1124.
- (3) 野島一彦 1993 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1992) 福岡大学人文論叢, 24(4), 1343-1382.
- (4) 野島一彦 1994 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1993) 福岡大学人文論叢, 25(4), 1805-1834.
- (5) 野島一彦 1995 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1994) 福岡大学人文論叢, 26(4), 1809-1834.
- (6) 野島一彦 1996 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1995) 福岡大学人文論叢, 27(4), 2049-2074.
- (7) 野島一彦・坂中正義 1997 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1996) 九州大学心理臨床研究, 16, 81-99.
- (8) 野島一彦・坂中正義 1998 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1997) 九州大学心理臨床研究, 17, 99-112.
- (9) 野島一彦・坂中正義 1999 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1998) 九州大学心理臨床研究, 18, 135-150.
- (10) 野島一彦・坂中正義 2000 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(1999) 九州大学心理臨床研究, 19, 103-120.
- (11) 野島一彦・坂中正義 2001 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト(2000) 九州大学心理臨床研究, 20, 103-120.

- 神療法」に関する文献リスト (2000)
九州大学心理臨床研究, 20, 103-120.
- (12) 野島一彦・坂中正義 2002 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2001)
九州大学心理臨床研究, 21, 151-168.
- (13) 野島一彦・坂中正義 2003 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2002)
九州大学心理臨床研究, 22, 207-223.
- (14) 野島一彦・坂中正義 2004 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2003)
九州大学心理臨床研究, 23, 131-143.
- (15) 野島一彦・坂中正義 2005 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2004)
九州大学心理臨床研究, 24, 117-128.
- (16) 野島一彦・坂中正義 2006 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2005)
九州大学心理臨床研究, 25, 137-153.
- (17) 野島一彦・坂中正義 2007 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2006)
九州大学心理臨床研究, 26, 251-268.
- (18) 野島一彦・坂中正義 2008 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2007)
九州大学心理臨床研究, 27, 137-152.
- (19) 野島一彦・坂中正義 2009 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2008)
九州大学心理臨床研究, 28, 165-179.
- (20) 野島一彦・坂中正義 2010 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2009)
九州大学総合臨床心理研究, 2, 101-121.
- (21) 野島一彦・坂中正義 2011 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2010)
九州大学総合臨床心理研究, 3, 185-198.
- (22) 野島一彦・坂中正義 2012 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2011)
九州大学総合臨床心理研究, 4, 143-162.
- (23) 野島一彦・坂中正義 2013 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2012)
跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 9, 3-18.
- (24) 野島一彦・坂中正義 2014 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2013)
跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 10, 3-25.
- (25) 野島一彦・坂中正義 2015 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2014)
跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 11, 5-23.
- (26) 野島一彦・坂中正義 2016 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2015)
跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 12, 3-23.
- (27) 野島一彦・坂中正義 2017 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2016)

跡見学園女子大学附属心理教育相談所
紀要, 13, 3-24.

- (28) 野島一彦・坂中正義 2018 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2017) 跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 14, 9-27.
- (29) 野島一彦・坂中正義 2019 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (2018) 跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 15, 9-22.

今回のリストは、「集中的グループ経験」と「集団精神療法」の2019年(1月～12月)の文献を収録している。また、これまでのリストにもれたものを追録という形で収録している。

第I部：「集中的グループ経験」

「集中的グループ経験」には、感受性訓練(ST), Tグループ, ラボトリー・トレーニング, グループ・カウンセリング, 健康増進セミナー, 自己発見のための合宿セミナー, 自己との出会いのためのグループ合宿, エンカウンター・グループ, グループ・アプローチ, Lグループ, IPR, CST, 行動集団カウンセリング, ゲシュタルト療法, 交流分析等が含まれる。主に<成長>, <訓練>を目的とするグループである。

2019年の概況は次のようである。単行本は, 1冊発行された。研究論文は, 17本で前年より増加した。学会発表(口頭発表)は, 日本人間性心理学会で12本, 日本心理

臨床学会で9本, 日本集団精神療法学会で6本, 日本学生相談学会で1本と前年より増加した。翻訳(単行本)は, 発行されなかった。

A. 単行本

1. 正保春彦 2019 心を育てるグループワーク楽しく学べる72のワーク 金子書房

B. 研究論文

1. 伊藤義美 2019 フォーカシング指向グループアプローチ(FOGA)を用いた保護者への心理教育プログラム 人間と環境, 10, 1-8.
2. 楠本かおり・楠本和彦 2019 コンサルテーションの要素を含む心理臨床家を対象とした研修の試み 人間関係研究, 18, 25-37.
3. 松本千尋 2019 非構成的エンカウンターグループ参加体験の報告と考察 跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 15, 79-84.
4. 村山正治 2019 PCAGIPネットワーク設立会 東亜臨床心理学研究, 18, 45-54.
5. 村山正治・浦野俊美他 2019 5年間の播磨PCAGIPプロジェクトの軌跡 東亜臨床心理学研究, 18, 5-11.
6. 中田行重・村山正治 2019 第2回PCAGIPネットワーク大会シンポジウム—PCAGIP法におけるPCAの人間観— 東亜臨床心理学研究, 18, 55-67.
7. 西野秀一郎・高橋由梨他 2019 自己生成プロセスワーク体験の報告と考察 跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀

- 要, 15, 57-70.
8. 野島一彦 2019 「3タイプのエンカウンター・グループ・シリーズ体験プログラム」の実践と検討 跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 15, 3-7.
 9. 野島一彦・高橋紀子他 2019 公認心理師に期待されるグループ・アプローチの実践と課題 跡見学園女子大学心理学部紀要, 1, 27-35.
 10. 小倉泰憲 2019 「世間」のディスコースを導入したアサーション・トレーニングの予備的検討 カウンセリング研究, 52 (増刊号), 41.
 11. 大橋佳奈 2019 心理臨床家を目指す大学院生の2回目のベーシック・エンカウンター・グループ体験の報告と考察 跡見学園女子大学心理学部紀要, 1, 129-141.
 12. 坂中正義 2019 エンカウンター・グループ 布柴靖枝・板東充彦編「家族関係・集団・地域社会 (公認心理師実践ガイドンス 第3巻) 木立の文庫, 112-116.
 13. 杉浦崇仁・村山恵子他 2019 「PCAグループ」及び「PCAGIP法」に関する文献リスト (2018) 東亜臨床心理学研究, 18, 74-84.
 14. 土屋耕治・和田真波他 2019 社会的感受性と身体活動を伴う小集団の課題パフォーマンス・ブロック積み上げ課題を用いた検討—人間関係研究, 18, 38-50.
 15. 山口豊一・山本絵梨他 2019 中学生に対する構成的グループ・エンカウンターを用いた効果研究—固定化された人間関係において— 跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 15, 43-56.
 16. 鎌水翔太 2019 学習塾講師を対象とした構成的グループエンカウンターによる自尊感情育成の研究 跡見学園女子大学心理学部紀要, 1, 143-152.
 17. 鎌水翔太 2019 ベーシック・エンカウンター・グループ体験の報告と考察 跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 15, 85-90.
 18. 吉田由美・相澤亮雄他 2019 入学初期の看護学生に行ったPCAGにおけるファシリテーター体験の報告 東亜臨床心理学研究, 18, 35-44.
- C. 学会発表
1. 板東充彦・本山智敬他 2019 事例検討会におけるグループ構造の検討—権力問題への対処— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 35.
 2. 法眼裕子・大島智子 2019 EGカフェに参加しませんか in 跡見学園女子大学 日本人間性心理学会第38回大会プログラム・発表論文集, 40.
 3. 石田妙美・高瀬加容子他 2019 養護教諭志望学生の集団討論におけるコミュニケーションスキル 日本人間性心理学会第38回大会プログラム・発表論文集, 74.
 4. 角野訓子 2019 「前向き子育てプログラム (triple P: Positive Parenting Program)」の効果—グループで取り組む保護者の気づきと意識の変容— 日本心理臨床学会第38回大会発表論文集, 187.
 5. 金子周平・田中将司 2019 体験過程プロセス分析によるLow-structured groupのファシリテーター訓練に関する

- 仮説生成 日本人間性心理学会第38回大会プログラム・発表論文集, 44.
6. 木村能成・那須里絵他 2019 児童・思春期の子ども達を対象とした野外キャンプの取り組み—子どもの成長する力に着目して— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 66.
 7. 北田朋子・中山幸輝他 2019 ロジャース論文を媒体とした大学院生グループの意味—終了後の語りから— 日本人間性心理学会第38回大会プログラム・発表論文集, 75.
 8. 栗田智未・前川伸晃 2019 リーダーの自信を高めるリーダーシップ・トレーニング・プログラムの検討 日本心理臨床学会第38回大会発表論文集, 297.
 9. 松本千尋 2019 非構成的エンカウンター・グループ体験の報告と検討 日本人間性心理学会第38回大会プログラム・発表論文集, 67.
 10. 三浦文子 2019 大学生対象の構成的エンカウンター・グループ—「コ・ファシリテーター方式」におけるシェアリングの工夫— 日本人間性心理学会第38回大会プログラム・発表論文集, 67.
 11. 三輪なつみ 2019 発達障害者を含む夫婦関係に関するグループセラピーの取り組み—夫婦関係の風通しを良くする手助けを通した, お互いを受け入れ合う素地作り— 日本心理臨床学会第38回大会発表論文集, 161.
 12. 望月洋介 2019 リフレクティングを応用したサポート・グループにおける専門家の役割意識について 日本人間性心理学会第38回大会プログラム・発表論文集, 60.
 13. 本山智敬 2019 教員のファシリテーションを支える—高等学校での構成的グループ・エンカウンターの実践— 日本人間性心理学会第38回大会プログラム・発表論文集, 56.
 14. 永山智之 2019 自閉スペクトラム症のある成人へのグループ箱庭心理教育プログラムの効果 日本心理臨床学会第38回大会発表論文集, 198.
 15. 南谷則子・杉本敦子他 2019 認知行動療法による思春期の不登校の子どもを抱える保護者への支援プログラムの実施 (1)汎用性のあるプログラム構築のためのファシリテーターが行った実践例との比較 日本心理臨床学会第38回大会発表論文集, 172.
 16. 成瀬九美 2019 表現活動のグループワークにおけるイメージの統合過程 日本心理臨床学会第38回大会発表論文集, 147.
 17. 日本心理臨床学会 (第38回) 2019 自主シンポジウム: 公認心理師時代におけるグループ・ファシリテーターの養成を考える 日本心理臨床学会第38回大会発表論文集, 401.
野島一彦 (企画者)
野島一彦 (司会者)
辻 孝弘 (話題提供者)
新村信貴 (話題提供者)
西野秀一郎 (話題提供者)
岡村達也 (指定討論者)
吉村麻奈美 (指定討論者)
 18. 日本人間性心理学会 (第38回) 2019 シンポジウム<PCAを背景に持つグループの可能性を考える~ファミリーグループとコミュニティプレイセラピーの比較

- から～> 日本人間性心理学会第38回大会
プログラム・発表論文集, 48.
- 野田 論 (司会・話題提供者)
押江 隆 (話題提供者)
水野行範 (指定討論者)
新村信貴 (指定討論者)
池ノ谷和 (指定討論者)
加藤春奈 (指定討論者)
田畑優介 (指定討論者)
坂本和久 (指定討論者)
19. 乗富千代 2019 グループワークによる保育士支援—気になる子どもの保育を巡って— 日本人間性心理学会第38回大会プログラム・発表論文集, 74.
20. 野島一彦 2019 3タイプのエンカウンター・グループをシリーズとして体験するプログラムの実践と検討 日本集団精神療学会第36回大会抄録集, 36.
21. 小川すみれ・鴨澤あかね 2019 不登校の子どもを持つ親への支援—“親の会”の調査を通じて— 日本集団精神療学会第36回大会抄録集, 32.
22. 小黒明日香 2019 行政機関の組織内における継続的な研修実施過程をグループの視点でとらえる試み—組織の力動を捉えることで, 課題発見と組織変革の機会をつかむ可能性の模索— 日本集団精神療学会第36回大会抄録集, 71.
23. 佐々木清子 2019 学生相談室におけるマインドフルネスグループの実践 日本学生相談学会第37回大会プログラム, 43.
24. 佐藤友里・酒井玲子他 2019 「集団産後メンタルケアプログラム」の取り組み—夫婦関係の捉え方の変化に着目して— 日本心理臨床学会第38回大会発表論文集, 340.
25. 高橋靖子・南谷則子 2019 認知行動療法による思春期の不登校の子どもを抱える保護者への支援プログラムの実施 (2)—グループの自助機能とファシリテーターの役割— 日本心理臨床学会第38回大会発表論文集, 173.
26. 高橋紀子・押江 隆他 2019 なぜグループをするのか: グループ実践家自身の内省と語り合いの場としての「PCAジャンクション」の試み 日本人間性心理学会第38回大会プログラム・発表論文集, 70.
27. 吉村麻奈美・高橋紀子他 2019 世代間交流エンカウンター・グループを大学生はどのように経験したか 日本人間性心理学会第38回大会プログラム・発表論文集, 70.
28. 要野 歩 2019 「職員研修という枠組みの中で行うグループ」—働くことを支える場・「NANBU GROUP」— 日本集団精神療学会第36回大会抄録集, 70.

D. 翻訳

〔該当文献なし〕

E. 書評

〔該当文献なし〕

F. 海外文献紹介

〔該当文献なし〕

付: 「集中的グループ経験」に関する文献リスト〔～2018〕の追録

A. 単行本

1. 國分久子監修 國分康孝著 2018 構成的グループエンカウンターの理論と方法：半世紀にわたる研究の成果と継承 金子書房
2. 田上不二夫監修 伊澤 孝著 2015 学級の仲間づくりに生かせるグループカウンセリング：対人関係ゲーム集 金子書房
3. 渡部昌平編著 高橋浩他著 2018 グループ・キャリア・カウンセリング：効果的なキャリア教育・キャリア研修に向けて 金子書房

B. 研究論文

1. 松澤裕子・田上不二夫 2018 対人関係ゲームによる学級の間人関係づくり—同僚性構築と学級・学年での実践へつなぐ取り組み— カウンセリング研究, 51 (増刊号), 37.
2. 水野邦夫・中地展生 2018 自己探求型と課題解決型の構成的グループ・アプローチの比較 カウンセリング研究, 52 (増刊号), 46.
3. 水野邦夫・中地展生他 2018 構成的グループ・エンカウンターへの満足度と感情変化について—自発参加・単発型の場合— カウンセリング研究, 51 (増刊号), 37.
4. 本村雅宏・野村華子 2018 対人関係ゲームを用いた学級集団づくりを支援する「学級担任用支援ツール」の開発 カウンセリング研究, 51 (増刊号), 35.
5. 中村恵子・田上不二夫 2018 うつ症状を伴う不登校生徒に対する別室登校での学校環境調整と対人関係ゲームの効果

カウンセリング研究, 51(2), 114-124.

6. 中村恵子・田上不二夫 2018 対人関係ゲームによる別室登校での集団システムの形成と生徒の変容 カウンセリング研究, 51 (増刊号), 36.
7. 新川広樹・富家直明 2018 高等支援学校における集団ソーシャルスキルトレーニングの事例—就労先のニーズアセスメントに基づく般化促進方略を用いた試み— カウンセリング研究, 51 (増刊号), 31.
8. 西野秀一郎 2018 臨床心理士を目指す大学院生の継続型ベーシック・エンカウンター・グループ体験による心理的効果の研究—アイデンティティの模索の促進に焦点を当てて— 跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 14, 67-79.
9. 西澤佳代・野村華子他 2018 対人関係ゲームのさらなる可能性を求めてV-2～インクルーシブ教育実現のために～ カウンセリング研究, 51 (増刊号), 29.
10. 野島一彦 2018 三タイプのエンカウンター・グループについての検討 跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 14, 3-8.
11. 大河内範子・田村節子他 2018 膠原病患者を対象としたサポート・グループの実践援助効果と運営者の役割についての検討 心理臨床学研究36(5), 545-555.
12. 大橋佳奈 2018 ベーシック・エンカウンター・グループ体験の報告と考察 跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 14, 123-135.
13. 大吉智子・田所撰寿 2018 カウンセラー教育におけるグループ体験学習の効

- 果に関する研究—マイクロ・ラボラトリー・トレーニング (MLT) 参加者の感想文の質的分析— カウンセリング研究, 51 (増刊号), 34.
14. 齊藤和貴・安藤由紀子他 2018 ひきこもり青少年への集団SSTに関する実践研究 心理臨床学研究, 36(5), 489-499.
 15. 坂中正義 2018 初学者向けパーソンセンタード・アプローチ・ワークショップの試み—自身との対話をベースとした中核3条件と傾聴の体験的理解をめざして— 南山大学人間関係研究センター紀要「人間関係研究」, 17, 24-54.
 16. 須永比呂美・井上麻美子 2018 グループ・セミナー活動の実践報告 日本女子大学カウンセリング・センター報告, 41, 1-8.
 17. 田上不二夫 2017 学会理事長講演：対人関係ゲームを用いた学級システムプログラム カウンセリング研究, 52 (増刊号), 25.
 18. 田上不二夫・井ノ山正文他 2018 対人関係ゲームのさらなる可能性を求めて V-1～主体的・対話的で深い学びと学級システム～ カウンセリング研究, 51 (増刊号), 30.
 19. 田上不二夫・丹野宏昭 2018 対人関係ゲームの実践を動機づける要因—対人関係ゲームを活用した学級システムプログラムの開発 (その2) — カウンセリング研究, 51 (増刊号), 36.
 20. 渡辺弥生・原田恵理子 2018 チュートリアルワークショップ：ソーシャルスキルトレーニング 日本心理学会第82回大会プログラム
 21. 山口豊一・大橋佳奈他 2018 固定化された人間関係にある中学生に対する介入研究—SGEを用いた効果研究— 跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要, 14, 51-65.
 22. 山下陽平・窪田由紀 2017 小学3年生を対象とした対人関係ゲーム・プログラムの効果の検討—対人不安傾向・ソーシャルスキル・学級集団の凝集性に着目して— カウンセリング研究, 50 (3・4), 121-132.
 23. 吉岡典彦・岸田幸弘 2018 対人関係ゲーム導入に対する中学校教師の意識～「くまがり」導入に対する教師の意識調査から～ カウンセリング研究, 51 (増刊号), 37.

C. 学会発表

1. 金子周平・田中将司他 2018 ベーシック・エンカウンター・グループのファシリテーター訓練の効果：非無作為化試験 日本人間性心理学会第37回大会プログラム・発表論文集, 80.
2. 原田恵理子・渡辺弥生 2018 ソーシャルスキルトレーニングを定着させるコンサルテーション 日本教育心理学会第60回総会プログラム78.
3. 葉山大地 2018 特別な支援が必要な生徒を対象とした「心理学演習」の実践報告—アンケートから読み取るグループワークの効果— 日本教育心理学会第60回総会プログラム, 88.
4. 法眼裕子・大下智子 2018 EGカフェに参加しませんか in 人間環境大学 日本人間性心理学会第37回大会プログラム・発表論文集, 96.

5. 今別府哲志 2018 仲間関係を中心としたリーダーレス・エンカウンター・グループの試み 日本人間性心理学会第37回大会プログラム・発表論文集, 52.
6. 稲田達也・鈴木由美 2018 グループ活動が学生に自己理解及びやる気に与える影響—コンセンサスの有無に着目して— 日本教育心理学会第60回総会プログラム, 68.
7. 石田妙美・本山智敬他 2018 学生が参加してみたいと思うエンカウンター・グループ 日本人間性心理学会第37回大会プログラム・発表論文集, 40.
8. 三浦文子 2018 セッションの流れをとめてしまった大学生対象の構成的エンカウンター・グループ 日本人間性心理学会第37回大会プログラム・発表論文集, 46.
9. 三宅幹子 2018 小学校3年生を対象したピア・サポートトレーニングの効果の検討 日本教育心理学会第60回総会プログラム, 56.
10. 持田訓子・有元典文 2018 発達環境の共同想像—公立相談機関におけるグループアプローチの実践を通して— 日本教育心理学会第60回総会プログラム, 47.
11. 村山正治・並木崇浩他 2018 PCAGIP法・ファシリテーター論・実践上の工夫 日本人間性心理学会第37回大会プログラム・発表論文集, 98.
12. 内藤裕子 2018 PCAGIPのエンパワメント効果—被災地の養護教諭を対象として— 日本人間性心理学会第37回大会プログラム・発表論文集, 86.
13. 成田有子 2018 産業領域で行うPCAGIPマネ・ピカ〜マネージャーどうしの内省的対話をもたらすもの〜 日本人間性心理学会第37回大会プログラム・発表論文集, 41.
14. 西野秀一郎 2018 自己生成プロセスワーク体験の検討 日本人間性心理学会第37回大会プログラム・発表論文集, 62.
15. 野島一彦 2018 3タイプのエンカウンター・グループについての検討 日本集団精神療法学会第35回大会発表論文集, 34-35.
16. 野島一彦 2018 ワークショップ：3タイプのエンカウンター・グループ・ファシリテーターの理論と実際 日本人間性心理学会第37回大会プログラム・発表論文集, 32.
17. 大橋佳奈 2018 ベーシック・エンカウンター・グループ体験の報告と考察 日本人間性心理学会第37回大会プログラム・発表論文集, 65.
18. 小野真由子 2018 事例提供者のPCAGIP体験のプロセス—1年後のインタビュー調査から— 日本人間性心理学会第37回大会プログラム・発表論文集, 59.
19. 大塚貴之・鈴木由美他 2018 グループ活動を通じた学生支援 日本教育心理学会第60回総会プログラム, 40.
20. 真田穰人 2018 小学校の委員会活動におけるピア・サポーターに与える効果 日本教育心理学会第60回総会プログラム, 83.
21. 曾山和彦 2018 短時間グループアプローチを活用した小中連携の効果 日本教育心理学会第60回総会プログラム,

- 72.
22. 鈴木由美・大塚貴之 2018 大学生のグループ活動における参加度がコンセンサスゲームに与える影響—自己理解に注目して— 日本教育心理学会第60回総会プログラム, 61.
23. 吉村麻奈美・高橋紀子 2018 大学生を対象としたグループ・アプローチの概観—この10年の, 学生相談領域を中心とした文献レビュー— 日本人間性心理学会第37回大会プログラム・発表論文集, 58.

D. 翻訳

〔該当文献なし〕

E. 書評

〔該当文献なし〕

F. 海外文献紹介

1. 尾上明代 2018 ドラマセラピーの漸進的發展—架空から現実へ—「Emunah, R. 1994 Gradual Progression of Drama Therapy~From Fiction to Reality~. Acting for Real: Drama Therapy Process, Technique and Performance. Pennsylvania: Brunner/Mazel. 尾上明代訳 (2007) ドラマセラピーのプロセス・技法・上映—演じることから現実へ. 京都: 北大路書房」集団精神療法34, (2), 224-228.

第Ⅱ部：「集団精神療法」

「集団精神療法」には, 集団心理療法,

グループ・セラピー, 心理劇 (サイコドラマ), 活動集団療法, 集団遊戯療法, 集団分析, グループワーク, 治療キャンプ, 集団絵画療法, 音楽療法, 生活技能訓練 (SST), デイケア, 治療共同体, ソーシャル・クラブ, セルフ・ヘルプ・グループ, ダンス療法, グループ連動表現療法, レクリエーション療法等が含まれる。主にく治療>を目的とするグループである。

2019年の概況は次のようである。単行本は, 発行されなかった。研究論文は, 71本で前年より増加した。学会発表 (口頭発表) は, 日本集団精神療法学会で51本, 日本心理臨床学会で1本, 日本人間性心理学会で1本と前年より増加した。翻訳 (単行本) は, 発行されなかった。

A. 単行本

〔該当文献なし〕

B. 研究論文

1. 安部康代・針生江美他 2019 大会企画ワークショップ2: 東日本大震災等の相互支援グループXIV 集団精神療法, 35(2), 161-162.
2. 相田信男 2019 シンポジウム: そして病棟は心理学的になった—このフレーズの由来, その後の発展— 集団精神療法, 35(2), 208-213.
3. 相田信男 2019 名誉会員メッセージ (ニュースレター原稿再掲): 高橋哲郎先生からのお便り紹介 集団精神療法, 35(1), 97.
4. 荒木章太郎 2019 学会印象記: 第2回日本うつ病リワーク協会年次大会体験記 集団精神療法, 35(2), 251-252.

5. 後田純子・甲斐千穂他 2019 薬物依存症グループ活動報告 医療法人コミュニティ風と虹 2018年度臨床活動報告論文集, 59-62.
6. 伊達真理子・藤江朋美他 2019 家族支援プログラム活動報告 医療法人コミュニティ風と虹 2018年度臨床活動報告論文集, 76-79.
7. 藤澤美穂・藤 信子他 2019 東日本大震災等の相互支援グループ—震災から5年8ヶ月～7年7か月の経過— 集団精神療法, 35(1), 61-67.
8. 古谷 浩・村山正治 2019 精巣腫瘍患者のためのピアサポートグループ設立体験 東亜臨床心理学研究, 18, 69-74.
9. 林 尚宏・中村慎他 2019 子どものトラウマと集団精神療法 集団精神療法, 35(1), 36-43.
10. 今村仁美・城後弓子 2019 アルコールグループ活動報告 医療法人コミュニティ風と虹 2018年度臨床活動報告論文集, 51-55.
11. 勇 博幸・高田瑞穂他 2019 のみもの依存症グループ活動報告 医療法人コミュニティ風と虹 2018年度臨床活動報告論文集, 80-82.
12. 石川与志也 2019 学会印象記：国際集団精神療法集団過程学会 集団精神療法, 35(1), 86-87.
13. 石川与志也・小道モコ他 2019 市民公開プログラム：発達障害児を育てるグループ 集団精神療法, 35(2), 171-173.
14. 伊藤義徳 2019 ト라우マを扱うマインドフルネス 集団精神療法, 35(1), 44-52.
15. 岩垂喜貴 2019 学会印象記：第115回日本精神神経学会学術総会 集団精神療法, 35(2), 245-246.
16. 岩崎壮登 2019 事例検討：コミュニティミーティングを振り返る—閉鎖病棟になって、あれから1年半— 集団精神療法, 35(2), 203-205.
17. 梶本浩志・鎌田明日香他 2019 自主ワークショップ：スクールカウンセラー×集団精神療法—学校でおきることを集団精神療法的な視点と方法で検討する— 集団精神療法, 35(2), 180-181.
18. 梶本浩史・徳丸 享他 2019 大会企画ワークショップ：チーム学校の教育相談力が高まるグラスルーツ・メソッド—group for all— 多職種連携の時代に— 集団精神療法, 35(2), 169-170.
19. 鎌田明日香 2019 シンポジウム：学校を「心理学的」にすること—「私たちの学校」と気づくとき— 集団精神療法, 35(2), 214-220.
20. 鴨澤あかね・大島寿美子他 2019 自主ワークショップ：“機能的サブグループ”で対人コミュニケーションを学ぶ 集団精神療法, 35(2), 174-175.
21. 片岡圭美 2019 学会印象記：第52回日本作業療法学会 集団精神療法, 35(1), 88-89.
22. 加藤祐介・永尾奈生実 2019 事例検討：依存症グループにおける怒りの手当て—怒りの爆発の再演を振り返る— 集団精神療法, 35(2), 198-200.
23. 菊池清美 2019 性被害のトラウマとグループ 集団精神療法, 35(1), 24-29.
24. 菊池清美 2019 会員の訃報について

- て：堀川百合子先生を偲んで 集団精神療法, 35(2), 262-263.
25. 菊池寿奈美 2019 研究会だより：京都集団療法研究会のこれまでと現在 集団精神療法, 35(2), 258-259.
 26. 北西憲二 2019 名誉会員の辞：日本集団精神療法学会との関わりについて— 名誉会員の辞に代えて— 集団精神療法, 35(2), 257.
 27. 古賀禎也・馬郡芳弥他 2019 ギャンググループ活動報告 医療法人コミュニテ風と虹 2018年度臨床活動報告論文集, 96-101.
 28. 小宮敬子・西村 馨他 2019 シンポジウム：指定討論と全体討論のまとめ 集団精神療法, 35(2), 227-232.
 29. 近藤喬一 2019 名誉会員メッセージ (ニュースレター原稿再掲)：無題 集団精神療法, 35(1), 94.
 30. 小谷英文 2019 大会企画ワークショップ：集団精神療法に現れる怒り— 孤立と甘えの間— 集団精神療法, 35(2), 166-168.
 31. 小谷英文 2019 不安グループセラピー— 孤立と甘えの間— 精神療法, 45(5), 626-630
 32. 黒崎優美 2019 “異形の者”を生み出すグループ— 心性組織ストレスに関する理論的検討— 集団精神療法, 35(1), 68-74.
 33. 増野 肇 2019 名誉会員メッセージ (ニュースレター原稿再掲)：日本集団精神療法学会誕生のエピソード 集団精神療法, 35(1), 93.
 34. 松本佳子 2019 学会印象記：第20回日本赤十字看護学会学術大会 2019年6月15日, 16日 集団精神療法, 35(2), 249-250.
 35. 水上真理子・小山芳明 2019 グループで発達性トラウマを考える 集団精神療法, 35(1), 17-23.
 36. 森 智秀・藤田照海他 2019 ゲーム・ネット依存症グループ 活動報告 医療法人コミュニテ風と虹 2018年度臨床活動報告論文集, 106-111.
 37. 室城隆之 2019 自主ワークショップ：ゲシュタルト療法ワークショップ (2)— 集団精神療法としてのゲシュタルト— 集団精神療法, 35(2), 176-177.
 38. 中久喜雅文 2019 名誉会員メッセージ (ニュースレター原稿再掲)：名誉会員になって 集団精神療法, 35(1), 95.
 39. 中野文子・山下由美他 2019 ソーシャライジングクラブ 活動報告 医療法人コミュニテ風と虹 2018年度臨床活動報告論文集, 102-105.
 40. 中島幸良・越智貴紀他 2019 クロザリルグループ 活動報告 医療法人コミュニテ風と虹 2018年度臨床活動報告論文集, 112-113.
 51. 那須里絵 2019 学会印象記：The 2nd IAGP International Research Congress on TRAUMA & CRISIS 集団精神療法, 35(2), 253-254.
 42. 西村 馨 2019 大会長講演：「私たち」のグループを求めて 集団精神療法, 35(2), 140-149.
 43. 西村 馨 2019 トラウマの集団精神療法 集団精神療法, 35(1), 8-16.
 44. 小笠原美江 2019 トラウマ治療におけるサイコドラマの役割 集団精神療法, 35(1), 30-35.

45. 太田裕一 2019 巻頭言：ぼくらのグループ 集団精神療法, 35(1), 5-7.
46. 太田裕一・井上麻紀他 2019 自主ワークショップ：よりよく生きることを目的とした外来グループ—精神科慢性疾患の力動的精神療法の会— 集団精神療法, 35(2), 188-189.
47. 才田康成・栗野麻美他 2019 生活習慣改善グループ 活動報告 医療法人コミュニティテ風と虹 2018年度臨床活動報告論文集, 83-86.
48. 桜庭拓郎・松坂伸行 2019 事例検討：グループが形を変えて復活し, 発展に至った過程 集団精神療法, 35(2), 201-202.
49. サツキ・イナ 2019 特別講演：日系人収容所の子どもたち—グループ体験による隠されたトラウマの発見— 集団精神療法, 35(2), 150-158.
50. サツキ・イナ 2019 大会企画ワークショップ：日系収容所の子どもたち—治療方略と教訓— 集団精神療法, 35(2), 159-160.
51. 関 百合 2019 自主ワークショップ：グループアナリシス・体験グループワークショップⅧ—ミディアングループのなかで集団と個人を語り合う— 集団精神療法, 35(2), 178-179.
52. 関 百合 2019 グループアナリシスとトラウマ 集団精神療法, 35(1), 53-60.
53. 重松順子・稲永 要他 2019 うつ病の集団精神療法 (Dグループ) 活動報告 医療法人コミュニティテ風と虹 2018年度臨床活動報告論文集, 72-76.
54. 白柿 綾・樋掛忠彦他 2019 大会企画ワークショップ：研究倫理について語る—研究倫理ガイドラインの完成に向けて— 集団精神療法, 35(2), 163-165.
55. 白波瀬丈一郎 2019 シンポジウム：「私たち」が「心理学的」であるための条件—「孤独」の体得— 集団精神療法, 35(2), 221-226.
56. 鈴木純一 2019 名誉会員の辞：名誉会員に推されて 集団精神療法, 35(2), 255.
57. 田原明夫 2019 名誉会員の辞：名誉会員に推薦されて 集団精神療法, 35(2), 256.
58. 田辺 等・河合健彦他 2019 自主ワークショップ：「不祥事」(あるいは「Dr.Y問題」) と呼ばれる出来事と「学会のトラウマ」をめぐる—part II 22+1年目の振り返り— 集団精神療法, 35(2), 192-194.
59. 田代 順・望月洋介 2019 自主ワークショップ：ナラティブなグループアプローチを体験する (その9) —リフレクティングによる体験グループの展開— 集団精神療法, 35(2), 185-187.
60. 田島徹子 2019 学会印象記：日本心理劇学会 第24回東京大会 2018年12月1日・2日 集団精神療法, 35(2), 247-248.
61. 徳永浩子・古賀禎也他 2019 ACグループ 活動報告 医療法人コミュニティテ風と虹 2018年度臨床活動報告論文集, 56-58.
62. 上田玲実・山口まどか他 2019 摂食障害グループ活動報告 医療法人コミュニティテ風と虹 2018年度臨床活動報告論文集, 63-65.

63. 卜部祐介・高橋 馨他 2019 自主ワークショップ：こうえん—そこにあるように— 集団精神療法, 35(2), 195-197.
64. 渡部京太 2019 学会印象記：第31回日本思春期青年期精神医学会ならびに第2回国際思春期・青年期精神医学・心理学会アジア地区大会 集団精神療法, 35(1), 84-85.
65. 渡部京太・塩谷隼平他 2019 自主ワークショップ：子どものグループを考える2—児童養護施設や児童心理治療施設で行われているグループの実践— 集団精神療法, 35(2), 182-184.
66. 山口まどか・大川稚衣他 2019 ウィメンズグループ活動報告 医療法人コミュニティ風と虹 2018年度臨床活動報告論文集, 66-72.
67. 矢野夕紀・河原久人他 2019 措置ミーティング 活動報告 医療法人コミュニティ風と虹 2018年度臨床活動報告論文集, 93-95.
68. 吉野比呂子 2019 自主ワークショップ：広島原爆とトラウマ～身体に刻まれた記憶～「語り継ぐ」とはどういうことなのか— 集団精神療法, 35(2), 190-191.
69. 吉川紗加・伊藤 渚他 2019 学習グループ活動報告 医療法人コミュニティ風と虹 2018年度臨床活動報告論文集, 87-92.
70. 吉松和哉 2019 名誉会員メッセージ(ニュースレター原稿再掲)：名誉会員に推薦されて 集団精神療法, 35(1), 96.
71. 吉野比呂子 2019 学会印象記：日本

病院。地域精神医学会第61回日本病院・地域精神医学会総会東京大会2018年12月13日・14日 集団精神療法, 35(1), 90-91.

C. 学会発表

1. 阿部正信 2019 児童・思春期病棟における「男子中学生の会」の治療的意義 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 55.
2. 安部康代・針生江美他 2019 大会企画：東日本大震災等の相互支援グループ 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 25.
3. 相田信男 2019 シンポジウム：そして病棟は心理学的になった—このフレーズの由来, その後の発展— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 78.
4. 長谷川麻弓・梶本浩史他 2019 相互研修グループworks Tokyoという試み—それぞれのつながりを求めて— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 63.
5. 橋本明宏 2019 初心者コンダクターのグループにおける困難さについて 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 30.
6. 林 尚宏・渡部京太他 2019 ソーシャルスキル・トレーニングのプログラム内におけるプレ・アドレッセンスの集団力動—意味のある失敗体験の提供— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 33.
7. 樋掛忠彦・白柿 綾他 2019 大会企画：研究倫理について語る—“新・研究倫理ガイドライン”の完成に向けて— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録

- 集, 26.
8. 堀 有伸 2019 原発事故後の被災地での活動を, グループの観点から検討する—「日本的ナルシズム」とsplitの緩和を意図した活動の報告— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 57.
 9. 堀川直希・堀川公平他 2019 治療者の死が思春期グループに残したもの 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 34.
 10. 藤巻加奈子・杉山恵理子 2019 トレーニングプログラムにおけるアクションメソッドの活用—『丁寧にグループを勉強する会』の実践を通して②— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 38.
 11. 伊藤由美子・宇都裕子他 2019 グループホームにおけるグループワーク—第二報— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 29.
 12. 岩崎壮登 2019 事例検討: コミュニティミーティングを振り返る—閉鎖病棟になって, あれから1年半— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 50.
 13. 梶本浩史・鎌田明日香他 2019 自主ワークショップ: スクールカウンセラー×集団精神療法—学校でおきることを集団精神療法的な視点と方法で検討する— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 42.
 14. 梶本浩史・徳丸 享他 2019 大会企画ワークショップ: チーム学校の教育相談力が高まるグラスルーツ・メソッド—~group for all~ 多職種連携の時代— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 47.
 15. 鎌田明日香 2019 シンポジウム: 学校を「心理学的」にすること—「私たちの学校」と気づくとき— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 79.
 16. 鴨澤あかね・大島寿美子 2019 機能的サブグループと心理力動グループにおける体験の違い—フォース・フィールドを用いた分析から— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 64.
 17. 鴨澤あかね・大島寿美子他 2019 自主ワークショップ: “機能的サブグループ”で対人コミュニケーションを学ぶ 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 39.
 18. 加藤祐介・永尾奈生実 2019 事例検討: 依存症グループにおける怒りの手当て—怒りの爆発の再演を振り返る— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 28.
 19. 川合裕子・古賀恵理子 2019 「仕組み」を「マネジメントすること」についての考察—LfA Japanでのアドミニストレーター体験と治療共同体での訓練体験— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 69.
 20. 河合健彦・菊池寿奈美 2019 自主ワークショップ: 「不祥事」(あるいは「Dr.Y問題」)と呼ばれる出来事と「学会のトラウマ」をめぐる—part II 22+1年目の振り返り— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 75.
 21. 菊池清美・堀川公平 2019 集団精神療法に表れる被虐待児童の道徳性発達 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 56.
 22. 古賀禎也・馬郡芳哉他 2019 治療共

- 同体想定 of 理論に基づいた依存症への危機介入—グループ崩壊の危機にメンバーやスタッフを支える治療的構造— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 60.
23. 小谷英文 2019 大会企画ワークショップ：集団精神療法に現れる怒り—孤立と甘えの間— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 46.
24. 久保田進也・山口裕子他 2019 発達障害児対象の集団療法的アプローチ実施による学生の心理的成長及び変化に関する研究 日本人間性心理学会第38回大会プログラム・発表論文集, 73.
25. 黒江美穂子 2019 東京都児童相談センター『ぱお』の取り組み—治療共同体は、子ども達に生きる力を授けられるのか?— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 54.
26. 宮城崇史・湯浅健介 2019 ワークブックを使ったグループが「心理的になる」には?—精神保健福祉センターにおける薬物依存症再発予防プログラムの場合— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集61.
27. 森 智英・坂口信貴他 2019 統合失調症患者の集団精神療法—クロザリルグループの役割— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 31.
28. 室城隆之 2019 自主ワークショップ：ゲシュタルト療法ワークショップ(2)—集団精神療法としてのゲシュタルト— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 40.
29. 中里容子 2019 ワークブックを使ったグループが「心理的になる」には?—依存症外来における感情焦点型プログラム(SCOP)の場合— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 62.
30. 日本集団精神療法学会(第36回) 2019 市民公開プログラム：発達障害児を育てるグループ 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 48.
石川与志也(司会)
小道モコ(シンポジスト)
渡部京太(シンポジスト)
林 尚宏(シンポジスト)
大橋良枝(シンポジスト)
生地 新(指定討論者)
31. 西村 馨 2019 大会長講演：「私たち」のグループを求めて 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 22.
32. 西村 馨 2019 シンポジウム：「私たち」のグループを求めて～「心理学的になる」ことの意味～—シンポジウム趣旨— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 77.
33. 野島一彦・権 成絃・太田裕一・井上麻紀 2019 自主ワークショップ：よりよく生きることを目的とした外来グループ—精神科慢性疾患の力動的精神療法の会— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 73.
34. 落合尚美 2019 青年期発達障害メンバーを抱えるグループ機能の考察 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 65.
35. 岡島美朗・桜庭拓郎他 2019 基礎講座 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 27.
36. 大河内範子 2019 サポート・グループの形成段階についての考察—膠原病サ

- ポート・グループの6年間を概観して—
日本心理臨床学会第38回発表論文集,
62.
37. 斎藤佐智子・神宮京子他 2019 精神
科急性期病棟におけるクリエイティブ・
アーツセラピー—多職種協働の有効性を
探る— 日本集団精神療学会第36回大
会抄録集, 53.
38. 桜庭拓郎 2019 事例検討: グループ
が形を変えて復活し, 発展に至った過程
—精神科慢性期療養病棟における多職種
連携グループ— 日本集団精神療学会
第36回大会抄録集, 49.
39. サツキ・イナ 2019 特別講演: 日系
人収容所の子どもたち—グループ体験に
よる隠されたトラウマの発見— 日本集
団精神療学会第36回大会抄録集, 23.
40. サツキ・イナ 2019 大会企画: 日系
収容所の子どもたち—治療方略と教訓—
日本集団精神療学会第36回大会抄録
集, 24.
41. 関 百合 2019 自主ワークショップ:
グループアナリシス・体験グループ
ワークショップⅧ—ミディアングループ
のなかで集団と個人を語り合う— 日本
集団精神療学会第36回大会抄録集,
41.
42. 白波瀬丈一郎 2019 シンポジウム:
「私たち」が「心理学的」であるための
条件—「孤独」の体得— 日本集団精神
療学会第36回大会抄録集, 80.
43. 田島徹子 2019 二つのデイケア閉鎖
に関する考察—その時メンバーはどう思
っていたのか— 日本集団精神療学会
第36回大会抄録集, 51.
44. 高橋美紀・藤巻加奈子 2019 サイコ
ドラマにおける主役のテーマとグループ
との関り—「集団精神療法としてのサイ
コドラマ」自主ワークショップの実践を
通して— 日本集団精神療学会第36回
大会抄録集, 37.
45. 高橋 馨・野中 稔他 2019 自主
ワークショップ: こうえん—そこにある
ように— 日本集団精神療学会第36回
大会抄録集, 76.
46. 高富 栄・熱田智子他 2019 KOBE
グループ勉強かい (KGB) の運営と歴
史—みなさん, グループしてますか?—
日本集団精神療学会第36回大会抄録
集, 67.
47. 武井麻子・小宮敬子 2019 専門職を
サポートするグループの実践—「ナース
のためのグループ研究会」の歴史を振り
返る— 日本集団精神療学会第36回大
会抄録集, 58.
48. 棚山翔子・巽岩秀章 2019 自律訓練
法が抑うつに及ぼす影響—大学生を対象
とした比較研究— 日本集団精神療学
会第36回大会抄録集, 59.
49. 田代 順・望月洋介 2019 自主ワ
ークショップ: ナラティブなグループア
プローチを体験する (その9) —リフレ
クティングによる体験グループの展開—
日本集団精神療学会第36回大会抄録
集, 72.
50. 渡部京太・塩谷隼平他 2019 自主
ワークショップ: 子どものグループを考
える2—児童養護施設や児童心理治療施
設で行われているグループの実践— 日
本集団精神療学会第36回大会抄録集,
43.
51. 吉川真衣・川茂聖哉 2019 総合病院

精神科外来での社会復帰を支えるグループの可能性 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 52.

52. 吉野比呂子 2019 自主ワークショップ：広島原爆とトラウマ～身体に刻まれた記憶～「語り継ぐ」とはどういうことなのか— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 74.

53. 吉岡直子・高林健示他 2019 震災を語り継ぐことの意義—災害について語るグループの8年間— 日本集団精神療法学会第36回大会抄録集, 68.

D. 翻訳

〔該当文献なし〕

E. 書評

1. 岸 信之 2019 「スーザン・ギャン, イボンヌ・アガザリアン著 嶋田博之・杉山恵理子監訳, LHS研究会訳『組織と個人を同時に助けるコンサルテーション』—企業や学校, 対人援助サービスで使えるシステムズセンタード・アプローチ— 集団精神療法, 35(2), 260-261.

F. 海外文献紹介

1. Deco, S. 1998 Return to the open studio group: Art therapy groups in acute psychiatry. "Return to the open studio group: Art therapy groups in acute psychiatry". In : Skaife, s. and Huet, V. (eds.) Art Psychotherapy Groups. London: Routledge. (斎藤佐智子オープンスタジオ・グループへの回帰—精神科急性期病棟におけるアートセラピー・グループ— 集団精神療法, 35(2), 240-

244.)

2. Modyn Leszcz 2018 The Evidence-Based Group Psychotherapist. *Psychoanalytic Inquiry*, 38(4), 285-298. (柴田応介・鈴木理恵・青山 碧・小林万葉エヴィデンスベースドな集団精神療法家 集団精神療法, 35(2), 233-239.)

3. Peter T. Wilson 2005 Breaking Down the Walls: Group Analysis in a Prison. *Group Analysis*, 38, 358-379. (柴田応介・鈴木理恵他 2019 壁を壊す: 刑務所の中でのグループ 集団精神療法, 35(1), 75-78.)

4. 山口勝弘・松井紀和 1983 A study of Non-Verbal Communication in the intensive group experience(3): Structure of feedback meeting and its significance. 集中的グループ体験におけるNon Verbal Communicationの研究(Ⅲ). 山梨大学教育学部研究報告, 34, 207-217. (水野高昌 2019 集中的グループ体験におけるNon Verbal Communicationの研究(Ⅲ)—フィードバックミーティングの構造とその意義— 集団精神療法, 35(1), 79-83.)

付: 「集団精神療法」に関する文献リスト〔～2018〕の追録

A. 単行本

〔該当文献なし〕

B. 研究論文

1. 安達佳代・横山太範 2018 事例検討: グループメンバーが二分化した際のコンダクターの関わりについて 集団精

- 神療法, 34(2), 216-217.
2. 相田信男・西村 馨他 2018 自主ワークショップ:「不祥事」(あるいは「Dr.Y問題」と呼ばれる出来事と学会の「トラウマ」をめぐる—22年目のふりかえり— 集団精神療法, 34(2), 213-215.
 3. 藤堂宗継 2018 学会印象記:日本心理劇学会第23回大会 集団精神療法, 34(1), 86-87.
 4. 藤澤美穂・藤 信子他 2018 自主ワークショップ:東日本大震災等の相互支援グループⅦ 集団精神療法, 34(2), 211-212.
 5. 藤澤希美・高橋 馨他 2018 自主ワークショップ:<こうえん>—自分が大切にするもの— 集団精神療法, 34(2), 206-207.
 6. 二口之則 2018 大会企画「現場から学ぶ」:自助グループ・サポートグループに参加して 集団精神療法, 34(2), 188-189.
 7. 後藤龍太 2018 多様な支援者が集うコミュニティづくりの実践—「シンの集い」8年間の“かたち”— 集団精神療法, 34(2), 166-168.
 8. 東端憲仁 2018 一地方病院の経験 集団精神療法, 34(2), 138-146.
 9. 石坂好樹 2018 児童心理治療施設における環境療法の一つの試み—現状の報告— 集団精神療法, 34(1), 15-22.
 10. 伊藤美子 2018 食べて学べて遊べる—みんなと一緒だから— 集団精神療法, 34(2), 163-165.
 11. 神宮京子 2018 自主ワークショップ:グループの多彩な力を体感する—ダ
ンス/ムーブメントセラピーを通して—
集団精神療法, 34(2), 190-192.
 12. 梶本浩史・鎌田明日香他 2018 自主ワークショップ:スクールカウンセラー×集団精神療法—学校で起きることを集団精神療法的な視点と方法で検討する— 集団精神療法, 34(2), 197-198.
 13. 鎌田明日香 2018 学校を「心理学的」にする—学校における集団精神療法の可能性— 集団精神療法, 34(1), 23-29.
 14. 鎌田明日香・青陽千果他 2018 大会企画「現場から学ぶ」:学校で,そこに棲む“グループな力”を活用する—学校集団力動,ことはじめ— 集団精神療法, 34(2), 178-179.
 15. 鴨澤あかね 2018 機能的サブグループ形成を用いたグループのプロセス—実験的グループを用いた心理力動的なグループのプロセスとの比較検証— 集団精神療法, 34(1), 59-65.
 16. 鴨澤あかね・大島寿美子他 2018 自主ワークショップ:“機能的サブグループ”で対人コミュニケーションを学ぶ 集団精神療法, 34(2), 193-194.
 17. 加藤 愛 2018 学会印象記:日本心理教育・家族教室ネットワーク 第21回研究集会 沖縄大会 平成30年2月23~24日 集団精神療法, 34(2), 229-230.
 18. 加藤 祐介 2018 IPA Asia-Pacific Conference 2018 TOKYO. IPAアジア太平洋精神分析カンファレンス東京大会に参加して—「依存」をテーマにした相互交流を通して学んだこと— 集団精神療法, 34(2), 231-232.
 19. 木下香織 2018 事例検討:精神科病

- 院における女性グループ—患者と看護師の相互交流の場としての挑戦— 集団精神療法, 34(2), 218-219.
20. 古賀恵理子・川合裕子 2018 治療共同体について考える会—LfA Japan 2017を終えて— 集団精神療法, 34(1), 93-94.
21. 工藤由佳・星野 大他 2018 事例報告：職員同士が理解し合うことで、患者の心の動きを少しずつ取り戻すことができた病棟—臨床の様々な場面で作ったグループの力— 集団精神療法, 34(1), 66-72.
22. 前田 潤 2018 アジア・オセアニア諸国との連携を展望する—私のサイコドラマ体験から— 集団精神療法, 34(1), 53-58.
23. みなこみか 2018 こんなグループもあり!?!—摂食自助のゆるーい繋がり— 集団精神療法, 34(2), 169-171.
24. 水上真理子・渡部京太他 2018 大会企画「現場から学ぶ」：集団の中で子ども達と関わり合う 集団精神療法, 34(2), 181-182.
25. 毛利真弓 2018 刑務所内治療共同体の可能性と課題 集団精神療法, 34(1), 37-45.
26. 向谷地生良・橋本侑治他 2018 対話の持つ力—オープン・ダイアログと当事者研究が招く世界— 集団精神療法, 34(2), 147-158.
27. 室城隆之 2018 自主ワークショップ：ゲシュタルト療法ワークショップ— 集団精神療法としてのゲシュタルト療法— 集団精神療法, 34(2), 201-203.
28. 鳴海紗恵 2018 集って食べて話す—ネモフィラの分かちあい— 集団精神療法, 34(2), 160-162.
29. 那須里絵 2018 学会印象記：The 3rd EAGT International Conference & The 4th IAGP Regional Conference in Africa in Group Psychotherapy and Group Processes (2018/1/10 Pre-Conference, 2018/1/11-13 Conference) 集団精神療法, 34(1), 91-92.
30. 日本集団精神療学会(第35回) 2018 自主ワークショップ：急性期病棟と地域におけるグループの実際と意義—急性期から治療から地域生活支援への動向を踏まえて— 集団精神療法, 34(2), 195-196.
- 二之宮正人 (企画者)
福澤宏之 (企画者)
森本松子 (企画者)
矢花孝文 (企画者)
高富 栄 (話題提供者)
吉川真衣 (話題提供者)
東端憲仁 (コメンテーター)
31. 西村 馨 2018 「私たち」のグループを求めて 集団精神療法, 34(2), 133-135.
32. 西村 馨 2018 特集にあたって 集団精神療法, 34(1), 7-8.
33. 野島一彦 2018 公認心理師に期待されるグループの実践 集団精神療法, 34(1), 9-14.
34. 野村 学 2018 巻頭言：学会パンフレットに取り組んで 集団精神療法, 34(1), 5-6.
35. 埜瀬ゆり恵・小黑明日香他 2018 大会企画「現場から学ぶ」：“感情労働”の現場に棲む“グループな力”を活かそ

- う！ 集団精神療法, 34(2), 176-177.
36. 関 百合 2018 学会印象記：—21世紀の「東は東，西は西」—17th International Symposium of the Group Analytic Society International—Crossing Borders. Social, Cultural and Clinical Challenge—2017年8月15日～19日ベルリン 集団精神療法, 34(1), 88-90.
 37. 重泉敏聖・清水耕策他 2018 大会企画「現場から学ぶ」コミュニティワーク：街づくりからみたグループ 集団精神療法, 34(2), 169-171.
 38. 鈴木育美・宮城崇史他 2018 大会企画「現場から学ぶ」：刑務所の『薬物依存離脱指導』に「グループな力」を活かす 集団精神療法, 34(2), 183-185.
 39. 高谷賢司 2018 企業におけるグループ臨床の意義と導入課題 集団精神療法, 34(1), 46-52.
 40. 田中 怜子 2018 GASi 43rd Winter Workshop 2018 NORTHFIELD REVISED参加体験記 集団精神療法, 34(2), 233-235.
 41. 田代 順・望月洋介 2018 ワークショップ報告：ナラティヴなグループアプローチの理論と実践を架橋する—リフレクティング・プロセスの体験とナラティヴなグループについての心理教育を通して— 集団精神療法, 34(1), 73-75.
 42. 藤堂信枝・高林健示他 2018 自主ワークショップ：戦争体験のシェアリングに向けた試み 集団精神療法, 34(2), 204-205.
 43. 辻 啓之 2018 刑務所における集団精神療法の最前線に見る課題 集団精神療法, 34(1), 30-36.
 44. 渡部京太・西村 馨他 2018 自主ワークショップ：子どものグループを考える—施設に入所している子どもとの集団精神療法の実践を通して治療構造を考える— 集団精神療法, 34(2), 199-201.
 45. 吉野 良・常磐野晴子他 2018 大会企画「現場から学ぶ」6. 地域での支援（就労・生活）：地域での支援現場に棲む“グループな力”を活用する 集団精神療法, 34(2), 186-187.

C. 学会発表

1. 足立 桜・山本百合子他 2018 成人発達障害者への映画を用いた感情認知プログラムの実践—就労支援デイケアにおける集団精神療法の役割— 日本集団精神療法学会第35回大会抄録集, 75.
2. 安達佳代・横山太範 2018 事例検討：グループメンバーが二分化した際のコンダクターの関わりについて 日本集団精神療法学会第35回大会抄録集, 44.
3. 相田信男・西村 馨他 2018 自主ワークショップ：「不祥事」（あるいは「Dr.Y問題」）と呼ばれる出来事と学会の「トラウマ」をめぐる—22年目のふりかえり— 日本集団精神療法学会第35回大会抄録集, 83.
4. 長南拓馬・佐藤由希子他 2018 大人の発達障害者を支える家族への心理教育の取り組みと今後の課題 日本集団精神療法学会第35回大会抄録集, 41.
5. 円山拓子・鴨澤あかね他 2018 がんのピアサポートにおけるグループアプローチの意義 日本集団精神療法学会第35回大会抄録集, 68.

6. 藤澤美穂・藤 信子他 2018 自主ワークショップ：東日本大震災等の相互支援グループ 日本集団精神療法学会第35回大会抄録集, 82.
7. 早坂麻衣子・花井直人他 2018 初期参加者へのアプローチについて 日本集団精神療法学会第35回大会抄録集, 72.
8. 東端憲仁 2018 大会長講演：一地方病院の経験 日本集団精神療法学会第35回大会抄録集, 28.
9. 梶本浩史・鎌田明日香他 2018 自主ワークショップ：スクールカウンセラー×集団精神療法—学校で起きることを集団精神療法的な視点と方法で検討する— 日本集団精神療法学会第35回大会抄録集, 48.
10. 神宮京子 2018 自主ワークショップ：グループの多彩な力を体感する—ダンス/ムーブメントセラピーを通して— 日本集団精神療法学会第35回大会抄録集, 45.
11. 鴨澤あかね・大島寿美子他 2018 自主ワークショップ：“機能的サブグループ”で対人コミュニケーションを学ぶ 日本集団精神療法学会第35回大会抄録集, 46.
12. 川合裕子・古賀恵里子 2018 LfA Japan 2017におけるAdministrator (アドミニストレーター)の役割 日本集団精神療法学会第35回大会抄録集, 33.
13. 菊池清美・堀川百合子他 2018 施設全体が治療集団となる取り組み—児童心理治療施設A園における治療共同体と総合環境療法— 日本集団精神療法学会第35回大会抄録集, 38.
14. 木村能成・西村 馨 2018 自閉症児の情動調節機能発達—思春期グループにおける成長を通して— 日本集団精神療法学会第35回大会抄録集, 42.
15. 木下香織 2018 事例検討：精神科病院における女性グループ「Teaサロン」—患者と看護師の相互交流の場としての挑戦— 日本集団精神療法学会第35回大会抄録集, 81.
16. 古賀恵里子・川合裕子 2018 LfA Japan 2017におけるメンバー集団とスタッフ集団の関係性についての考察 日本集団精神療法学会第35回大会抄録集, 32.
17. 黒江美穂子・吉村裕太・岩垂喜貴 2018 コミュニティミーティングが“格下げ”されると—グループはどう動き出すか— 日本集団精神療法学会第35回大会抄録集, 35.
18. 前田 潤 2018 札幌サイコドラマ研究会30周年の歩みと存在意義, そして今後の展望 日本集団精神療法学会第35回大会抄録集, 74.
19. 望月洋介・田代 順 2018 自主ワークショップ：ナラティブなグループアプローチを経験する (その8) —体験グループにリフレクティングを応用する— 日本集団精神療法学会第35回大会抄録集, 53.
20. 森 智秀・坂口信貴他 2018 ゲーム・ネット依存症の集団療法～治療共同体と集団療法～ 日本集団精神療法学会第35回大会抄録集, 71.
21. 向谷地生良 2018 特別講演：対話の持つ力—オープンダイアログと当事者研究が拓く世界— 日本集団精神療法学会第35回大会抄録集, 29.
22. 室城隆之 2018 自主ワークショップ

- 野村 学 (助言者)
日本集団精神療学会第35回大会抄録集, 59.
32. 日本集団精神療学会 (第35回) 2018
大会企画「現場から学ぶ」: 集団の中で
子ども達と関わり合う
水上真理子 (司会)
芦名知香枝 (実践報告者)
渡部京太 (講師)
日本集団精神療学会第35回大会抄録
集, 60.
33. 日本集団精神療学会 (第35回) 2018
大会企画「現場から学ぶ」: 刑務所の
『薬物依存離脱指導』に「グループな
力」を活かす
木村 睦 (司会)
東端萌李 (司会)
鈴木育美 (発表者)
宮城崇史 (発表者)
藪谷 巖 (助言者)
日本集団精神療学会第35回大会抄録
集, 61.
34. 日本集団精神療学会 (第35回) 2018
大会企画「現場から学ぶ」: 地域での支
援現場に棲む“グループな力”を活用す
る
山本 創 (司会)
常磐野晴子 (司会)
西町裕哉 (実績報告者)
吉野 良 (実践報告者)
関 百合 (講師)
日本集団精神療学会第35回大会抄録
集, 62.
35. 日本集団精神療学会 (第35回) 2018
大会企画「現場から学ぶ」: 嗜癖・依存
症の自助グループと治療・サポートグ
ループ—グループの進め方と運営の課題
樋掛忠彦 (司会)
山本 薫 (司会)
12 stepsグループ体験者 (報告者)
断酒会メンバー (報告者)
二口之則 (報告者)
田辺 等 (指定発言者)
日本集団精神療学会第35回大会抄録
集, 63.
36. 西田知佳子 2018 「ここでしか話せ
ない」人たちの短期小グループ—稀な体
験を語れる場の模索— 日本集団精神療
法学会第35回大会抄録集, 39.
37. 新田耕佑 2018 通常の学級における
特別支援の一機能について—特殊作動グ
ループを通じてグループを経験すること
— 日本集団精神療学会第35回大会抄
録集, 37.
38. 岡田佳澄美・塚瀬将之 2018 入院グ
ループで観察された, グループへの参加
をめぐる統合失調症患者の特徴的な
行動について 日本集団精神療学会第
35回大会抄録集, 80.
39. 岡崎 亮・大濱伸昭他 2018 成人発
達障害者に対するマイナス思考を減らし
て, 希望をういだす技法の取り組みと検
討 日本集団精神療学会第35回大会抄
録集, 77.
40. 奥山翔子・花井直人他 2018 ストレ
スチェックの活用法に関するグループデ
ィスカッションの結果と考察 日本集団
精神療学会第35回大会抄録集, 64.
41. 大濱伸昭・岡崎 亮他 2018 就労支
援デイケアにおける「成人発達障害者支
援プログラム」の活用について 日本集

- 団精神療学会第35回大会抄録集, 76.
42. 大森眞澄・青戸由理子 2018 精神科閉鎖病棟における園芸活動を介したグループの実践 日本集団精神療学会第35回大会抄録集, 79.
43. 大野史博・岡崎 亮 2018 当院の就労支援デイケアにおける自閉症スペクトラム傾向者に対する集団認知行動療法の試み 日本集団精神療学会第35回大会抄録集, 43.
44. 大島寿美子・円山拓子・鴨澤あかね 2018 日本人がん患者グループへのMCP (Meaning-Centered Psychotherapy) 導入の課題 日本集団精神療学会第35回大会抄録集, 67.
45. 下村一真・栗山千鶴他 2018 疾患の違いによって見られる精神科デイケア参加初期の不安 日本集団精神療学会第35回大会抄録集, 65.
46. 杉山恵理子・藤巻加奈子 2018 精神集団療法のトレーニングにおける体験と学びの融合の試み—『丁寧なグループを勉強する会』の実践を通して— 日本集団精神療学会第35回大会抄録集, 31.
47. 鈴木純一・相田信男他 2018 基礎講座 日本集団精神療学会第35回大会抄録集, 30.
48. 高橋 馨・野中 稔他 2018 自主ワークショップ：こうえん—since 2008— 日本集団精神療学会第35回大会抄録集, 52.
49. 瀧尻明子 2018 A地区でSSTグループを継続する意義—単身生活保護受給高齢者との5年間のグループを振り返る— 日本集団精神療学会第35回大会抄録集, 40.
50. 藤堂信枝・高林健示他 2018 自主ワークショップ：戦争体験のシェアリングに向けた試み 日本集団精神療学会第35回大会抄録集, 51.
51. 宇野寛子 2018 舞台発表を前提としたグループセッション—レ・ミゼラブルから『民衆の歌』プロジェクト— 日本集団精神療学会第35回大会抄録集, 73.
52. 渡部京太・西村 馨他 2018 自主ワークショップ：子どものグループを考える—施設に入所している子どもとの集団精神療法の実践を通して治療構造を考える— 日本集団精神療学会第35回大会抄録集, 49.
53. 吉川真衣・川茂聖哉 2018 総合病院の精神科急性期病棟でグループを始めて 日本集団精神療学会第35回大会抄録集, 78.

D. 翻訳

〔該当文献なし〕

E. 書評

〔該当文献なし〕

F. 海外文献紹介

1. Farhad Dalal 2012 Specialists without spirit, sensualists without heart: psychotherapy as a moral endeavor. *Group Analysis*, 45, 405-429. (柴田 聡介2018 魂を持たない専門家, 心を持たない感覚論者—倫理行為としての精神療法— 集団精神療法, 34(1), 76-80.)
2. Gail S. Fidler & Jay W. Fidler 1963 *Group Phenomena in Occupational Ther-*

apy. Occupational Therapy: A Communication Process in Psychiatry, Chapter 5. Macmillan Press. (水野高昌2018作業療法における集団現象 集団精神療法, 34(1), 81-85.)

3. Kenneth Bledin 2006 Empty Spaces in Group-Analytic Psychotherapy Groups. Group Analysis, 39, 203-213. (柴田応介2018グループ・アナリシスの精神療法グループにおける空虚な空間 集団精神療法, 34(2), 220-223.)

[付記]

利益相反はない。

[お願い]

リストに収録した文献の記述上の誤りを見つけれられた方, もれている文献を御存知の方は. 筆者まで御連絡願えれば幸いです。

連絡先 〒352-8501

埼玉県新座市中野1-9-6

跡見学園女子大学心理学部

野島一彦

TEL 048-478-4252

FAX 048-478-3475

E-mail nojima@atomi.ac.jp

URL <http://nojimakazuhiko.jimdo.com/>